

NPO 法人 生と死を考える会 2020年度
遺族支援スタッフ養成研修生 募集

本会は大切な人と死別した遺族の支援・自助活動や死生観の探索に、38年の長い期間携わってきております。

この度、これまで培われてきました実績をもとに、遺族支援スタッフ養成の研修会を実施いたします。

研修会では、遺族支援活動における基本的な知識や傾聴技術、態度などを理論と実践の両面より学びあいます。

募集要項をご覧の上、早めに応募されることをお待ちしております。

【募 集 要 項】

【受講対象者】

- 病死や事故、自死等により遺された遺族たちの支援ボランティア活動に関心のある方
- 死別体験当事者、また体験のない方でも、この分野の活動に日頃より関心のある方
- 研修修了後、本会の支援ボランティア活動に参画することが出来ます

【研修日程】 2020年9月30日（水）～ 12月2日（水） 全10回
1回2時間 計20時間 毎水曜日、午後6時30分～8時30分

- ・9月30日（水） ・10月7日（水） ・10月14日（水）
- ・10月21日（水） ・10月28日（水） ・11月4日（水）
- ・11月11日（水） ・11月18日（水） ・11月25日（水）
- ・12月2日（水）

【会場】 東京YWCA会館 2F(214号室) 生と死を考える会事務局

※JRお茶ノ水駅・御茶ノ水橋改札口より徒歩4分。東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅B1出口より徒歩4分。東京メトロ半蔵門線・都営地下鉄新宿線・三田線「神保町駅」A5出口より徒歩8分。都営地下鉄新宿線「小川町駅」B5出口より徒歩8分。
東京メトロ丸の内線「御茶ノ水駅」より徒歩5分。

※案内図は東京YWCA会館ホームページの地図をご参照ください。

- 【講師】 磯邊 聡 千葉大学教育学部教授 臨床心理士、「生と死を考える会・分かち合いの会」スーパーバイザー 千葉犯罪被害者支援センター理事。関連著論文：『ライフサイクルの臨床心理学』（培風館）、『子どもの死生観』（教育開発研究所、所収）など。
- 小山達也 東京女子医科大学看護学部講師、看護師。「生と死を考える会」理事。「分かち合いの会」スタッフ。専門は、精神看護学、自死遺族支援、自殺対策 など。
- 清水新二 奈良女子大学名誉教授、放送大学客員教授、社会学の視点から生死について研究、リサーチに長く関わる。関連著論文：『封印された死と自死遺族の社会的支援』（至文堂）、『死にたい声に寄り添って』（奈良いのちの電話協会）、『臨床家族社会学』（日本放送出版協会） など。
- 藤井忠幸 生と死を考える会代表理事、自死遺族ケア団体全国ネット代表、元内閣府自死遺族支援検討委員会委員。関連著論文：朝日選書『自ら逝ったあなた、遺された私』（所収）、現代のエスプリ『封印された死と自死遺族の社会的支援』（所収）など。
- 特別講師 その他、遺族支援「分かち合いの会」グループ等における実戦経験の豊富な現場スタッフが2～3名程度、実践に役立つ講座を担当する予定。

【参加費】 本会会員 20,000 円 会員以外 25,000 円

【定員】 12 名程度（定員になり次第締め切らせていただきます）

【申込み】 申込用紙に所定事項を記入の上、本会まで郵便、ファックス、メールにてお申込みください。

NPO 法人 生と死を考える会

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-8-11 東京 YWCA 会館 214 号室

電話：03-5577-3935 F a x：03-5577-3934

E メール： kensyu@seitosi.org

ホームページ： <http://www.seitosi.org/index.html>

【研 修 カ リ キ ュ ラ ム】

- | | |
|----------------------|-----------|
| ① オリエンテーション | 9 月 30 日 |
| ② 死生観について | 10 月 7 日 |
| ③ 死をめぐる社会学的視点 | 10 月 14 日 |
| ④ 死別悲嘆の変化、プロセスについて | 10 月 21 日 |
| ⑤ 「傾聴」についての基本&実技 | 10 月 28 日 |
| ⑥ 個人傾聴とグループ傾聴の違いと共通点 | 11 月 4 日 |
| ⑦ 「自死」の自己責任論と遺族の尊厳 | 11 月 11 日 |
| ⑧ 遺族に寄り添う際の大切な態度 | 11 月 18 日 |
| ⑨ 遺族「分かち合いの会」の役割と特徴 | 11 月 25 日 |
| ⑩ 遺族支援者に求められる課題など | 12 月 2 日 |

※必要に応じて実技も実施いたします。

※なお、講座のテーマ、内容、講師等は都合により変更することもあります。